

事業実績報告書

様式2
(2022年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-65	講座名	世界の料理と防災を通じて環境を学ぼう
記載日	2023/4/11	団体名・企業名	ノートルモンド名古屋

〈講座全体の概要〉(300字程度)

第2回については、講師の新型コロナウイルス感染のため開催できず中止いたしました。第1回では、ネパール出身の元留学生をお迎えし、防災ママかきつばた代表の高木さんと防災士・出口から日本の防災について講義し、日本とネパールの違いについて考えるオンラインを活用した環境講座を行いました。第3回では、中国出身の元留学生で名古屋大学を卒業し名古屋市で会社経営している孟さんから、中国・延辺の環境について講義していただき、キムチを作り環境について学びました。第4回では、中国出身の元留学生で愛知大学を卒業後、会社経営している王さんから中国の歴史・食文化・衣装・文化・環境を教わりました。また、漢族の衣装を体験しながら日本と中国の環境の変化について学び参加者同士で議論しました。



※写真1の説明

3月4日、第3回、知立市中央公民館、中国講座の様子

※写真2の説明

3月26日、第4回、中国料理赤壁、中国講座の集合写真

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

第2回については、講師の新型コロナウイルス感染のため開催できず中止し残念でした。第1回では、ネパール出身の元留学生、防災ママかきつばた代表の高木さんと防災士メンバーからお話しし、日本とネパールの違いについて考えるオンラインを活用した環境講座を行いました。第3回では、中国北部の環境について講義していただき、キムチを作り環境について学びました。第4回では、中国の歴史・食文化・衣装・文化・環境を教わりました。また、漢族の衣装を体験しながら日本と中国の環境の変化について学び参加者同士で議論しました。第1回では防災士である出口志穂志穂が参加者から意見を引き出し意見交換しながら考えを深めるワークショップをオンラインで行い、第3回・第4回では食空間コーディネーター兼ファシリテーター講師として中国の文化について考えを深めるワークショップを行いました。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

・日本と外国の防災の取り組みや環境の違いがわかった。 ・オンラインのおかげでコロナ禍でも安心して学ぶことができました。 ・中国の衣装を初めて着ることができて、素材も触ることができたので、時代によって気候変動があり、それに伴って素材が変わることが体験としてわかった。 ・中国の中で50以上の民族があり、それぞれに文化が大きくことなることがわかった。 ・中国なのにキムチを作っている朝鮮族がいることを初めて知った。 ・キムチを初めて作った。もっといろいろな国の料理を知りたくなった。 ・お料理を知ることから文化を知ることができ、知ってお互いを理解し合うことから、多文化共生が実現するのだと思った。